

1 あゆみ
2 花
3 町探検
4 なかよし
5 大川内
6 畑作り
7 宿泊制
8 女主人
9 観光農園
10 運動
11 ジュニア
12 火の用心

たちばな
1990 カレンダー

伊万里中学校

伊万里中学校のたちばな学級は、昭和40年から手作りの
版画カレンダーを作り続けています(関連記事16ページ)

90

1月

〈人口〉男28,983人 女32,316人 計61,299人(前月比-17)〈世帯数〉17,315世帯(12月1日現在)

伊万里の地名大きく浮上



伊万里市長
竹内 通 教

市民の皆さん、平成二年のお正月おめでとございませう。

昨年は一月八日平成元年と替わりましたが、元号の改定にあわせるように伊万里市に新しい動きが始まりました。

まずこれまでになかったことで、私がいちばんうれしく感じたのは、伊万里という地名を求めて企業が進出してきたこととで、各方面における市民の皆さんの特色づくりの努力で伊万里市の名聲が大きく浮上してきたからだと思えます。

しかも最近立地する企業は、その業界では最先端にあるものばかりで、さらに伊万里の地名が上がってまいります。

そのようなことで平成二年の市政には各方面で明確な特色が出てきました。

駅周辺の開発と 福祉・健康・教養 ゾーンの整備

まず伊万里湾開発では、産業関連として従来の合板や造船に加えて水産と飼料のコンビナートが位置づけられ、他面リゾート開発では海洋レフ基地に加えてミサワホームのイマリミュージアム計画が着手されようとしています。

市街地は「表にとびだした美術館」で陶磁の町にふさわしい魅力づくりを加えてゆき、あわせて駅周辺開発に着手し、北部では福祉、健康、教養ゾーンを整備いたします。

文化都市宣言を

農村はテレビシアによる新農村情報システムを推進し、農道離着陸場の開通をめざして国営総合農地開発事業でフライト・アンド・ブランド農産物と取り組み、二十一世紀佐賀農業のモデル地区形成にむかっています。

スポーツ都市を宣言した伊万里市は、いま一つ文化都市宣言が必要で、そのための施設づくりとして、まず図書館の建設を実現したいと考えています。

インフラ整備としては、西九州自動車

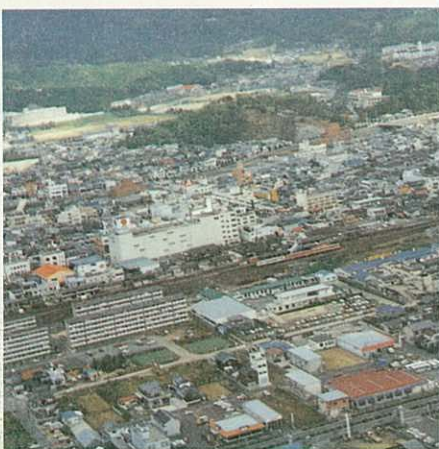
道の路線確定と九州横断道への松浦ハイパスの促進、伊万里湾架橋に併せて周辺の公園化をはかります。

特産伊万里牛をはじめ、新しく仕込んだ梨ワインも出て国際観光地にふさわしいグルメの創出と宣伝に力を注ぎます。

各界若手の 海外研修の推進

最近、若い人たちが意欲を燃やしてきたので、陶青会やアクティフ21、さらには商店街、農村の青年男女とともに、「明日の伊万里を創る」の大同団結を実現してまいります。

私は、ふるさと創生では各界の若手を海外に出して国際都市伊万里の担い手になつてもらいたいと考えています。



伊万里駅周辺開発で都市の近代化

平成元年第4回定例市議会

な、ま、い、も、有、り

一般会計補正額 8億4,655万円

平成元年第4回定例会は、12月5日から22日まで18日間開かれました。提出された条例議案11件、一般会計補正予算などの予算議案17件、一般議案7件の35議案と、継続審査となっていた昭和63年度の13会計の決算議案が審議、可決されました。

一般会計予算は、8億4,655万円を追加して、予算の総額が17億6,388万円となりました。

今回の補正は、市単独道路整備費や各種公共事業費の追加と給与改定に伴う職員の人件費の追加などです。補正の主なものは、次のとおりです。

- ふるさと創生人材育成基金 1億円
- デイ・サービスセンター建設事業費補助金 1,566万円
- 松浦鉄道新駅設置工事費負担金（3駅） 1,421万円
- 市単独市道補修事業（側溝整備） 2,000万円

- 伊万里湾架橋周辺公園整備計画調査事業 500万円
- 市単独小中学校施設補修事業 2,500万円

4月から第2、第4土曜が閉庁に

伊万里市の休日を定める条例が可決され、4月から毎月の第2、第4土曜日が閉庁となります。また、市民にアイデアを募集しました「ふるさと創生1億円」は、ふるさと創生人材育成基金に積み立てられることになりました。詳しくは、広報いまり2月号でお知らせします。

100条委員会が結論

昨年の第3回定例市議会で、地方自治法第100条に基づき設置された旧楠久市営住宅用地購入調査特別委員会（江頭橋次委員長、12人）は12月22日、同用地購入にかかる市費支出金について行った調査結果を市議会へ報告しました。

同委員会は、昭和60年に市土地開発公社（理事長 竹内市長）が旧地権者に支払った600万円が二重払いかどうかの問題について、「二重払いとは、昭和36年当時土地代金が支払われているかどうかをさすことであって、旧地権者本人に支払われていないだろうことは委員会としても認められるものの、その土地代金そのものは支払われていた」と結論を出しました。

市は、委員会の結論やこれまでの経過を十分考慮し、この問題に対処することとしています。

水産加工コンビナートの核

共和水産・共和冷蔵が進出

共和水産株式会社と同社系列の共和冷蔵株式会社（両社とも本社 鳥取県境港市、和田卓一郎社長）の伊万里団地（山代町楠久）進出が決まり、12月4日佐賀厚生年金休暇センターで進出協定の調印式が行われました。

共和水産は、敷地1万1,880平方メートルに5,363平方メートルの工場を建設し、イワシを加工して飼料、肥料用のフィッシュミールや魚油を生

産。平成2年2月着工、同年11月操業開始で、投資額15億8,400万円。従業員17人のうち地元採用は13人の予定です。

共和冷蔵は、敷地2万1,120平方メートルに7,542平方メートルの工場を建設し、イワシなどの冷凍加工品を生産。共和水産と同じ建設計画で操業開始は平成2年11月。投資額は14億700万円で、従業員29人のうち地元採用は26人の予定です。

両社の進出決定に伴い、すでに関連企業数社の進出の動きが出ています。市はこれを機に、伊万里団地を西日本唯一の水産加工コンビナート基地として推進する方針です。

共和水産株式会社と共和冷蔵株式会社伊万里団地進出調印式



○ 休暇センターでの調印式



＜大報新書座談会＞

文化の活性化と 個性あるまちづくり

地域固有の文化は、その土地が有する歴史、伝統、風土、人情などから創り出されます。伊万里の特性を活かした文化や、それに根ざしたまちづくりは、どう進めたらよいのでしょうか。

最近、若い人たちの間に新しい文化活動や、まちづくり活動が**ま****ま****ま**芽生えてきています。

各分野で活躍する若い人たちの考えや、思いを通して文化の活性化と、個性を活かしたまちづくりを考えてみましょう。

盛 今、各地で自分たちの住んでいる地域に目を向けようという気運が起きてきています。伊万里でもたくさんありますが、今日お集まりの皆さんの活動もその一つだと思います。それでは、まず皆さんの近況などをお話していただきたいと思います。

西田 劇団として、この3年間に大小7回の公演をやってきました。今までは、お客さんをホールに呼ぶばかりだったので、今度は積極的に外へ出て、公演を見にこれない人の所へ人形劇をもって、入っていくと思っています。

川副 陶青会や秋祭り実行委員会を引き受け、やれることからやろうと出発しました。秋祭りでは、どこにでもあるようなイ

VENTにしたいくないということで、「献上窯」をやりましたが、大川内山を多くの人に知ってもらうことができました。

盛 できることからやっていくということがいいですね。

先輩がバックアップ

川副 初めての経験だったので、仕事との兼ね合いでみんなに苦勞をかけました。今年成功したのは、若手がやりやすいように先輩の方がバックアップしてくれたおかげです。

犬塚 図書館づくりをすすめる会を3年前につくり、講演会や先進地研修、勉強会などを行っています。先日、長崎県の香焼町に行ったんですが、人口5,000



出席者のみなさん (50音順)

犬塚まゆみさん（主婦、図書館づくりをすすめる会会員）

川副 秀樹さん（虎仙窯、陶青会会長）

田中 香栄さん（三光印刷勤務）

西田 勝雄さん（コスモ企画勤務、劇団くろねこかん団員）

廣瀬安太郎さん（いづもや、伊万里商店街連合会まちづくり部会長）

森田 一雄さん アドバイザー（朝日新聞社社友）

盛 峰雄さん 司会（教育委員会文化係、文化財専門員）



犬塚まゆみさん(43)
住民と行政がいつしよになって考え、中味のすばらしい図書館ができれば…

人の町なんです、街の中の本屋さんと思った所が図書館だったんですね。広くはないのですが、中味のすばらしさに魅せられて帰ってきました。

田中 三光印刷でラスターという会社を作っていますが、プランナーという肩書きで、有線テレビのCMやスーパーの催し物、イベント、会社案内など全般的なプランニングをしています。

盛 それでは、今日のテーマの一つ、文化について話を進めたいと思いますが、どうも文化というのは間口が広い、堅いというイメージがあるようですが…。

文化はふとしたゆとり

田中 言葉で「文化」と言えば堅い感じがしますね。文化とは何かと、たえず意識しているのではなくて、日々の暮らしの中で、ふとしたゆとりみたいなのじゃないかと思います。



廣瀬安太郎さん(37)

幼児教育からふるさとに情熱を感じるような教育が必要だと思う

犬塚 文化とは、昔から受け継がれて、高められてきたもので、それを大事にして、次の世代へ引き継ぐのが私たちの役目だと思います。特に母親ですので、子どもたちにいい伝統、いい環境を残してやれたらいいですね。

盛 森田さん、いかがですか。
森田 かつては物質文明よりも高いところにあるものが文化であるという言い方をされてきましたが、今日ではさきほど田中さんが言ったように、まさに「ゆとり」ですね。ふだんの生活の中でゆとりを感じることに、銭金の勘定から離れた心の遊び、実益的な目的から離れた生活活動、そういうもの全部を文化とする説が有力です。

盛 最初に「地域に目を向けよう」と言いましたが、ふるさとを知るといことも大事ではないかと思いますが…。

伊万里学の設定を

森田 郷土学習を「第四の教育」と呼び、それを地域づくりにつなぐ必要を言う学者がいます。その意味で、私は「伊万里学」の設定を提案したい。これは秋田県で試みられたことなんです。が、「秋田学」を設定し、県民こそって文化と取り組む県民運動の原点としています。そもそも秋田とは何なのか。秋田はどのような方向に進むべきか。それらの点をドイツの郷土学の手法で整理し、自分たちの文化運動の方向づけをした。全国に先駆けた生涯学習運動もここから始まっています。郷土の詩人、片岡繁男さんに、ふるさとの山河を崇める詩がありますが、そういうものが伊万里の文化活動の出発点になればいいのじゃないかと思ったりしています。

盛 自分たちの住んでいるまちを、よく知ることが大事ですね。

ふるさとの冊子を

廣瀬 白壁土蔵があったといわれても、ぼくらでも小さいころのことよく覚えていないんですね。だから小学生向けに冊子を作って、ふるさとの知識を身につけるようにしたらどうでしょうか。以前、子どもたちを大勢連れて「伊万里川の源をさぐる」ということで、八谷堀から伊万里川を歩いて大川内山の滝まで行きました。自分も伊万里がどういうところか、よくわからないところがありますからね。

田中 しばらく東京に住んでいましたが、外国人と知り会って

まず聞かれるのが、伊万里は東経何度、北緯何度とか、人口や特産物などで、答えられなくて情けなかったですね。ボストンの人だったけど、自分のまちのことを延々と説明するので、何でよく知っているのと尋ねたら、親が教えてくれたと言うんです。何かが違うなと思いました。向こうでは、必ず町々で教えられるそうです。それに郷土の本が一家に一冊あるらしいですよ。
盛 それでは、次にどうすれば伊万里文化を活性化できるかということですが…。とにかく自分のふるさとを理解するということが原点ですよ。ややもすると行政主導になるところが目につきますが、ひとりひとりが主人公だという気持をもって、どういうことをやっていけるのかということだと思のですが…。



西田 勝雄さん(32)

演劇は、情熱をもって一生懸命やらないと、観る人も燃えてくれない

廣瀬 鹿島のガタリンピックは、「濁しかない」を「そこに濁があるんだ」という発想の転換から生まれたと聞いています。それから考えると、いままで気づかなかった伊万里の再発見というものもあるんじゃないかと思っています。

盛 だから徹底的に伊万里を知る必要があるんですね。

伝統に甘えが...

川副 私たちは、伊万里焼の伝統に甘えているところがあるんじゃないかと思います。これからは伝統を大切にしながら、自分たちのもっている感性を焼き物で表現し、新しい伊万里焼を創作していこうということにしています。

盛 伝統にまけない作品を創っていくということですね。

川副 言うのは簡単ですが、大変なことだと思います。

盛 それが伝統の重みというものなのでしょうね。田中さんはいかがですか。



田中 香栄さん(28)

出てきた芽をおしりとするようなまねはしないで、見守ってほしい

田中 若い人にきちんとした意見をもった人がたくさんいますが、若いくせに生意気だとか、女のくせにとかいうような雰囲気があるようで…。なまじっか意見をもったりすると、よってたかってつぶされるようなところがあるんですよね。話を聞いてくれる人がいれば、次はこれ、次はこれ、というものが出てくるんじゃないかと思うのですが。

川副 若い人は思いもつかないような、いい考えをもっていますよ。確かに若い人の言いたい

ことを消すような感じのときもありますね。

盛 年齢に関係なく、いい意見とか、個性をもっている人を育てていく広い視野とか意識が必要なんでしょうけど…。

西田 伊万里で演劇を始めるときは、本当に見に来てくれるだろうかと不安でした。「演劇などして、何しょっとやろうか」と思われるのがおちじゃないかと。さっき田中さんが言われたように理解してくれないんじゃないかという意識がすごくありました。でも、みんなに応援してもらってホッとしました。

文化縁をつなげて 地域文化を高める

森田 川副さんが言った感性、伝統に負けないオリジナルといい、西田さんの演劇活動といい、非常に良いことだと思います。

私たちは活字文化の人間ですが、皆さんは映像文化の世代で、しかもゆとりのあるなかで育てられた。古い世代の私たちより文化性が多角的だと思います。ひとつ文化的に奔放にあばれていただきたいですね。

それから、それぞれの方の活動の原点みたいなものをまずつくるとすれば、さっき言ったような伊万里学といったものを設定していただいて、そこから各団体がネットワークを組み合わせながら伊万里の文化を高めていったらいいのではないかと思います。

ある学者が「文化縁」というおもしろい提唱をしています。コミュニティとは地域共同社会と訳されますが、さらにすすん

で地域に住む人たちが、共同の目的をもって地域を豊かにする活動をコミュニティというようになっています。そして、そのねらいは、その地域において生きがいを豊かにし、文化活動を盛んにすることによって人と人との触れ合いを濃密にすることにあります。よく地縁とか人縁とか言いますね。これからは文化縁というものをもち、それをつなげて地域の文化を高め、ひいては地域を活性化させていこうというのです。



盛 峰雄さん(36)

ふるさとを理解し、それを活かしてトーン的一致したまちづくりができれば…

盛 非常に視野の広いお話をうかがいましたが、いろんな活動の中でもう一步踏み出すという社会性が出てくれば、もっとよくなると思いますね。ところで森田さん、伊万里の文化度、あるいは文化の活性化の方法についてどうお考えでしょうか。

森田 文化度については、裾野が広いか、頂が高いか、2つの物差しがあると思うのですが、第1段階としては裾野を広げることが大切だと思います。多くの分野でまず一定の水準を達成して、そのあとに個性や特色を引き出していく順序になると思います。

それから活性化ということな

んですが、もともと文化というものには行政の介入をきらいな性質のもので。そこで、市民ひとりひとりがいろいろな学習をして、市民サイドから文化の程度を高めていかなければならないと思います。そこから生涯学習の意義も生じてきます。一方、指導者層についてですが、過去の経験によりかかち、新しい文化の時代に対する認識が薄い人が多いように思っています。このあたりをどうするかということも文化行政のポイントだろうと思いますね。

行政に文化性を

次に行政の文化化についてですが、水戸市が最近発表した文化政策によると、市の総予算の1割を毎年芸術活動に注ぎ込む方針を打ち出したんですね。そして芸術館をつくって、水戸文化を創生しようとしています。今やそういう時代になっているんです。それで願わくば、まず市の職員の方に、文化が成熟し、社会が成熟してくれば、地方自治の究極の政策は文化なんだということを知ってもらい、それぞれの仕事に文化性を盛り込



森田 一雄さん(66)
ふるさとへの想い。そのようなものが文化活動の出発点になればいいのでは…

むという考えを、今まで以上に濃厚にもっていただきたいと思っています。

盛 私たち行政に携わるものにとって非常に厳しいお話でしたが、今後力を入れていかなければならないと思います。 -

ところで、私は9年前に伊万里へ来たときに、川藻に白壁土蔵が映るという伊万里津のイメージを描いていたんですが、来てみると近代化された街並みで、その点ではちょっと残念な気もしたんですが。これからの伊万里のまちづくりについて、みなさんどうお考えでしょうか。

歴史をいい形で残して

廣瀬 先祖から受け継がれてきた歴史や文化をいい形で残していかなければならないと思います。私は商店街のまちづくり部会で、本来は自分たちのお金もうけのためにやるわけですが、もうそれだけではお客さんが納得してくれる時代じゃなくなりましたね。まちづくりはもちろん部会だけでできるわけではなく、そこに住んでいる人みんなに考えていただきたいので、そういう気持ちもっていくのが私たちの仕事だと思っています。

盛 まちづくりはソフト面とハード面の両面がありますね。人づくりが難しいことですが…。

犬塚 伊万里のことをいちばん考え、愛しているのは、伊万里に住んでいる人じゃないかなと思うんです。ですから、住んでいる人がもっと暮らしやすいような生活環境が必要だと思います。若い人が喜んで残れるような伊万里になるためにも、りっ

ばな文化施設、図書館、それから伊万里の文化を高める会なんかもほしいですね。



川副 秀樹さん(35)
「友禅」というテーマで開催する創作展の作品に取り組んでいます

川副 美術館もほしいですね。

盛 美術館、博物館はそのまちのガイダンスルームですね。ここへきて、そのまちのことを知っていただく、いわば観光案内所みたいなものですからね。

犬塚 私は市の人はあまり意見を聞いてくれないといわれますが、行政の人はすばらしい図書館をと考えておられるに違いないと思っています。

盛 図書館づくりというところのイメージが強いと思いますが、だれもが簡単に本を読める環境と中味が大事なんですよ。図書館というのは、市民の生活情報の発信基地だと思います。

森田 私は伊万里を出て3、4年になりますが、最近伊万里のまちがきれいになってきていると感じています。人は、きれいなまちに住むことによって、美に対する感覚が自ずから培われてきます。都市そのものが文化だという人もいるくらいです。都市の美しさは、自然の美しさ、人工の美しさ、精神の美しさ、この3つによって形成されます。これらが調和したときにその都

市は美しさを増す。そういう定義からすると、小さいなりに伊万里はいい線をいっていると思うし、そういう伊万里が好きですね。

盛 いろいろ意見を出していただきましたが、そろそろまとめをお願いしたいと思います。

文化を認識することから文化度が高まる

犬塚 ひとりひとりが文化を認識するところから文化度が高まっていくと思います。私たち市民の努力と行政が一致したらとてもすばらしいですね。

廣瀬 私たちももちろん考えますが、行政の方でも何が本当にみんなのためになるかを考えて

まちづくりをやってもらいたいですね。

西田 結論は情熱だと思います。決めたら絶対やるべきだと思います。失敗しても、いつかそれを成功につなげていくことが必要だと思います。

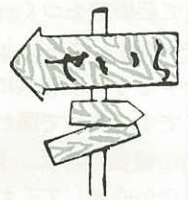
田中 文化というものは時代とともに流れ、うねっていくようなものだと思うんですね。だからそのときどきものを取り入れて、ひとつの形にしていきたいと思っています。

川副 伊万里焼の伝統を継承しながら、また私たちが新しい、いい焼き物を創っていくことが大事なことだと思います。

森田 大衆社会が進行すればするほど人間関係が希薄になるし、地域社会における連帯感も薄れてくる。そういうものを回復す

るためにはどうしても文化活動が盛んでなければならぬと思います。であればこそ、みなさんのような文化活動がたいへん評価される。今後、ますます活発になって、モノの時代から人間回復の時代へという気運が、伊万里という地域社会で芽を吹くことになればいいですね。
盛 たくさんのご意見ありがとうございました。

いろいろな分野で活躍されている皆さんは、活動はもちろん、ある意味ではムードメーカーとしての役割も果たしておられるのではないかと思います。これからも伊万里の文化の底上げに力をつくしていただき、文化の香りのする、個性のあるまちづくりを、みなさんといっしょにやっていきたいと思っています。



座談会によせて

「せいら」を愛読くださる市民の皆さん、平成二年のお正月おめでとございます。

今年は西暦一九九〇年ですからあと十年で二十一世紀を迎えることとなります。

しかも、ありがたいことに、いま伊万里市の各界の若い人たちがまちづくりにたいへんな意欲を燃やされ、新しい息吹がいくつも出てきて、伊万里市の二十一世紀は前途洋々の思いがいたします。

先般、広報いまり新春座談会が「伊万里文化の活性化と個性あるまちづくり」というテーマで開かれ、朝日新聞社友の森田一雄さんをアドバイザーとして男女六人の若手から意見が出されました。

まづ伊万里に住む人が伊万里の概念や歴史を知らないのが、親が幼児に話すところからのテキストが欲しい、ということに対して森田さんから「伊万里学」の提唱がありました。そのもとでは生涯学習の先進県である秋田の「秋田学」で、秋田県が文化と取り組む県民運動のファンファーレに「秋田学」を打ちあげ、文化運動の方向づけをして生涯学習運動の先駆けとなっ

たそうです。

いま伊万里という地名を求めて企業が進出してきているときでもあり、皆さんから伊万里は個性のあるまちづくりの可能性が十分にあるといわれ、またそれをまとめて盛さんから「トーンの一致するまち」という提言もあり、私は早速「伊万里学」プロジェクトをつくって実現をはかりたいと思います。また、これまでは若い人の意見が聞いてもらえなかったが最近ではむしろ支援してくださるようになって、それが若い人の意欲を盛りあげているとのことで、ニューイマリづくりが前途有望であることを感じました。

さらにこういう意見もありました。それは世の中の指導層が勉強していない。だから人間活動の終局が文化にあることがわからない。そういう学習のためにも、また地域の文化情報の発信のためにも図書館や美術館が必要だということでした。

川北開発の遅れから文化施設が遅れたので早急に取り戻します。どうぞ「伊万里学」による文化の発展をご期待ください。(竹内)



熱気ムンムン、リズムダンス

佐賀県リズムダンス研究会（会長 吉牟田美代子 佐賀女子短期大学助教授、3,000人）の西部地区フェスティバルが12月9日、玉姫殿で開かれました。フェスティバルには500人を超える会員が参加。ステージで踊る各クラブの代表にあわせて参加者全員がフロアで踊り、会場は熱気ムンムン。

同研究会は、「動いて 笑って 仲間になって」を合言葉に、現在県内に76クラブが結成され、3歳の子どもから84歳の高齢者まで、楽しみながら体づくりをしています。



小学校音楽会

伊万里市小学校音楽会が11月19日、市民会館大ホールで開かれました。音楽会には市内の9小学校から約400人の児童が出演。踊りをまじえたコーラスやピアノ、トランペットなどの合奏に練習の成果を披露しました。

会場には出演した児童のお父さんやお母さんたちが大勢詰めかけ、座れずに立ったまま発表に聴き入る人もかなりありました。



藤本敏夫 講演会 生命教育を考える



伊万里青年会議所（田中英夫理事長）主催の教育講演会が11月23日、藤本敏夫さんを講師に迎え市民会館大ホールで開催されました。

藤本さんは、同志社大学時代、学生運動に参加。昭和43年には全学連委員長になり、以後学生運動関連で刑務所暮らしも体験するなど、波乱に富んだ人生経験の持ち主です。「教育の原点に迫る」をテーマとした講演では、「知識教育は学校教育でできるが、生命観や感じる心は自然環境の中で養っていくもの。子どもの非行はそれがなくなったから」と生命教育の重要性を強調しました。

大坪町の 古賀地区で つう渡し



●顔に墨を塗って仮装

地区の氏神さまの分霊を、顔に墨を塗って次の当番の家まで運ぶ「つう渡し」が12月14日、大坪町古賀地区でありました。去年1年間、今岳権現のご神体を祭ってきた前田末久さん（40）宅に今年の当番組・垣添組の人が集まって会食。酒も入り、盛り上がったところでくじで役割を決めました。新しくご神体を祭る大権現となった中島善久さん（39）たちは、顔一面に墨を塗り、代々伝わる衣装で仮装して、ほら貝を吹きながら地区を巡回しました。



★ わが家のPOPOPO ★

中島 智子ちゃん
(10か月)

敏雄・妙子さんの三女

6人兄弟の末っ子の智ちゃん。
お兄ちゃん、お姉ちゃんが好きなの。いつもニコニコ。大きくなってもその笑顔忘れないでね!! (黒川町名村団地)

ほほえみ ひろは

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

信用金庫職員会

老人ホームをもちつき慰問

伊万里信用金庫職員会(渡辺英洋会長、88人)の40人が12月9日、養護老人ホーム向陽園(田中寿幸園長、99人)を慰問し、もちをついておじいちゃん、おばあちゃんに食べてもらいました。この日は、新米のもち米25kgを持ち込み、それぞれ職員の家庭から持ち寄ったきねで、交代交代にかえ声をかけ合いながらつきました。あまり上手でない人もいて、リズムが狂うとまわ

りからヤジがとぶなど、にぎやかに6うすがつき上がりました。ついたばかりのモチは、あんこもちに丸められ、ホカホカのモチが入園者に配られました。同職員会は、昭和47年からこの慰問を始め、今年で17年になります。伊万里津大橋ができてからは大壺の清掃奉仕もしています。



渡辺会長は、「少しでも地域に恩返しができればと思っています。毎年のことなので、お年寄りの方にも楽しみにしてもらっていると思います」と話していました。

郷土の文化財

はじき すえき 土師器と須恵器



ムラヤクニの権力者が盛土をした墓(古墳)に埋葬された時代を古墳時代(約1700~1400年前)といいます。古墳の中には鏡、剣、玉類、鉄器(農具、馬具)、須恵器などの副葬品(供物)がいっしょに埋葬されました。伊万里には奈路寺古墳(二里町)、銭亀古墳、夏崎古墳(東山代町)、小島古墳(山代町)があります。

古墳時代に使われた器に土師器と須恵器があります。土師器は弥生式土器の流れを受け継ぐ素焼きの土器です(写真左)。須恵器は陶器で、古墳時代になって朝鮮半島から技術が伝わってきました。成形にはロクロを使用し、高温が保てる登窯(登窯)で焼成するため灰色をしています(写真右)。使用目的も違い、土師器は主に生活用品として、須恵器は主に副葬品として使用されました。

あの人この人 No.81
陸上3,000㍎で
全国2位になった
前田敬樹君(15)



10月22日、東京の国立競技場で開催された第20回ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会に出場し、中学3年男子の3,000㍎で見事2位に入る健闘。スタートから先頭集団につけ、ゴール1周手前では一時トップに立つ力走をみせました。

クラブ活動では陸上部ではなく、180㍎の長身をいかし、バスケット部に所属。キャプテン

をつとめています。

勉強の方も優秀で、3年間ほとんどトップで、生徒会の副会長。美術でも全国特選に選ばれたこともあり、まさに文武両道を地で行く前田君です。

陸上で頭角を現し出したのは、去年の県の駅伝大会から。強豪がそろそろ距離のいちばん長い区間で、3年生をおさえて区間賞をとったことで自信が付き、以来走るたびに記録を更新し、九州大会や県大会で優勝を重ねてきました。

「陸上もバスケットも好きです。走る楽しみは勝ったときの喜びとタイムを縮めたときの嬉しさ。でも簡単には勝てないです」と控えめに話す前田君は、「走るのはきつけれど、やめたいと思ったことはありません。高校では陸上一本で頑張りたい」と力強く抱負を述べました。



池田 君枝さん(21)

南波多町高瀬(水瓶座、B型)

3人兄弟の末っ子で、今兄のやっているドライブイン王慶を手伝っています。将来は何か手に職をつけて、自分に合う仕事を見つけないと思っています。スポーツが好きで、南波多のバレーボールチームで頑張っています。

そうですね、今年は友達とゆっくり旅行でもしたいですね。

伊 農 農業クラブ MRに花のプレゼント

伊万里農林高校農業クラブ(山田大作会長、570人)の代表9人が11月18日、松浦鉄道の伊万里駅のホームを花で飾りました。贈られた花は、学校で育

てた葉ボタンやパンジーなどで、プランター(長方形の鉢)に16ケース。有田からMRを利用して通学している生徒が週に2回水やりなどの管理をすることになっています。



MRのホームを花で飾る伊農農業クラブの生徒たち

同校は、松浦鉄道への花のプレゼントは今回が初めてのことですが、数年前からJR駅やバスセンターにも贈り、利用客の目を楽しませています。

四季の詩

平成の御代を寿ぎ屠蘇を酌む

新天町

田中 杉秀子

白梅の一輪床しはつ花の

清き初日の光りの中に

黒川町畑川内 梶原 ツル子





大阪府泉佐野市高松東

池田 優さん(63)
秀子さん(59)

昭和28年、黒川村塩屋を出て泉佐野市に移り住んでもう36年になりました。その間大阪市内

広報いまりで楽しむ

ふるさとのこと

の学校教材メーカーに勤めていましたが、61年に定年退職し、今は泉佐野市シルバー人材センターに入会して第二の人生を歩んでいます。

大阪府の南部、大阪湾に面した泉佐野市は、人口9万の都市です。泉佐野沖では現在、関西新空港建設が進み、空港都市としての発展が期待されています。またタオルの産地として有名で、私もセンターの紹介でタオル関係の仕事をしています。36年前の当地は、たまねぎ、キャベツの産地として知られていましたが、現在は田畑も宅地、工場、商店街に変わってきています。

そういえば、ふるさと伊万里の発展には目を見張ります。家内も伊万里出身で、たびたび帰郷していますが、本当にびっく

りします。来阪まで見慣れた七ツ島は造船所に、市街地も見違えるようになり、国見台、休暇センター、道路などの施設も完備され便利さを感じました。

毎月届く広報いまりで、ふるさとの情報を楽しんでいます。特に黒川の記事に出会えば懐かしいです。スーパーなどで伊万里梨のケースを見かけると、急にふるさとの恋しくなります。

大阪での年1回の佐賀県人会、また毎年6月には新社会人になった後輩の歓迎を兼ねての関西地区伊商同窓会が開かれますので、いつも楽しみにしています。

私も仕事の第一線を退き、しみじみとふるさとの思いにふける年になりましたが、伊万里の発展と市内高校の甲子園出場を期待してペンを置きます。

〈同和教育No.64〉

ふるさを高らかに語る日を

平成2年の新春を迎え、生まれ故郷で正月を過ごす人も多い。

喜びの中に、ふるさとの香りを満喫し、友人と語りあい、歌いあい、郷愁の心を満たす機会も多いことでしょう。

「……ふるさとの光りが 歌が海原と輝きかわし はてしなき天へ ひろがる」

これは、交響詩「伊万里」の一節ですが、伊万里市民に限らずすべての人々に、それぞれの郷土賛歌の心があることでしょう。ところが、全国的にみても

自分の生まれたところが被差別地区であるが故に「ふるさと」をかくさなければならぬ現実、またそれに伴う差別があります。

差別の現実

『ふるさと』 丸岡 忠雄
“ふるさとをかくす” ことを父は けもののような鋭さで覚えた

ふるさとをあばかれ
ふたたびかえらぬ友がいた
ふるさとを告白し

許婚者に去られた友がいた
わが子よ おまえには
胸張ってふるさとを名のらせたい
瞳をあげ 何のためらいもなく
“これが私のふるさとです”
と名のらせたい

同和教育問題は、人類普遍の原理である人間の自由と平等にかかるとは、部落解放にあります。

この課題を追い、今年の午年にちなみ、馬のように力強く推進して行きましょう。

第36回市内一周駅伝

山代町 逆転で5連覇

11月26日、各町対抗で行われる第36回伊万里市内一周駅伝競走大会が開かれ、11区間、63.2kmに健脚を競いました。みぞれまじりのあいにくの天候になった去年とは打って変わった上気分で、中継所や沿道では見物の人たちから温かい声援がおくられました。

レースはスタートから東山代がとび出してトップを奪い、主

導権を握りましたが、終盤山代が逆転。5連覇を果たしました。成績は次のとおりです。

- 優勝 山代(3時間36分28秒)
 準優勝 東山代(3時間37分14秒)
 3位 波多津(3時間37分55秒)
 ④松浦 ⑤大坪 ⑥二里 ⑦黒川 ⑧南波多 ⑨大川 ⑩伊万里 ⑪牧島 ⑫大川内
 躍進賞=黒川(4分16秒短縮)

1月のスポーツ

9日、16日、23日、30日(火)

- 太極拳教室
20時 黒川公民館

14日(日)

- 波多津町親子卓球大会
8時半 波多津中学校
- 波多津町内一周子ども駅伝大会
12時波多津中スタート
- 二里町子ども会卓球大会
9時 国見台体育館



優勝した山代町。四区へは二位で中継

第36回伊万里市内一周駅伝競走大会順位表 (5区、8区=再スタート)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
1	東山代			東山代	山代		波多津	大川内			山代
2	牧島			大川	二里		山代	東山代			波多津
3	山代			山代	波多津		松浦	波多津			東山代
4	大坪			大坪	黒川		東山代	大坪			大坪
5	南波多			二里	松浦		二里	山代			南波多
6	大川			松浦	東山代		黒川	松浦			大川
7	二里			波多津	大坪		大坪	南波多			松浦
8	大川内			黒川	南波多		南波多	伊万里			二里
9	松浦			南波多	牧島		大川	大川			黒川
10	黒川			牧島	伊万里		伊万里	二里			伊万里
11	伊万里			伊万里	大川内		大川内	黒川			牧島
12	波多津			大川内	伊万里		牧島	牧島			大川内

野球関係者 野球場整備で奉仕

伊万里市軟式野球連盟(吉原羊一郎会長)の役員と一部登録チームの代表、市役所野球部の80人が12月10日、国見台野球場のグラウンド整備に汗を流しました。

グラウンドの土が雨で流れ、荒れていたため、阿蘇の火山灰10トンと川砂9トンを入れて整備したもので、今回のような大がかりのものは初めてです。



東西松浦駅伝予選 東山代など本大会へ

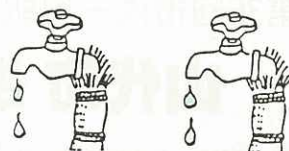


今月の28日に開催される東西松浦駅伝大会出場をかけた予選会が12月10日、国見台陸上競技場でわれ、伊万里市から東山代体協、波多津体協、伊万里市役所、南波多体協が本大会出場を決めました。

去年の大会で10位以内に入賞し、すでに今大会の出場権を獲得している伊万里体協と九州電子金属、二里体協とあわせ、7チームが本大会に出場します。

【水道の冬じたく】

●寒さから水道管を守りましょう



◎水道管の凍結を防ぐには
水道管に保温チューブ、布、
縄を巻いて、その上にビニール
などで防水をしてください

◎管が凍って水が出ないとき
タオルをかぶせ、その上から
ぬるま湯をかけて解かしてく
ださい

◎水道管が破裂したとき
元栓を閉めて、破裂した所に
布やテープを巻きつけた後で
市水道部または近所の市指定

水道工事店までご連絡くださ
い(市水道 ☎5400、☎5401)

- 〔指定工事店名〕 TEL
- 伊万里市管工事協同組合 22-5333
 - 相生設備(株) 23-9060
 - 九州電気工事(株) 23-5245
 - 伊万里設備 23-2616
 - 川井産業(株) 23-2185
 - ㈱新生商会 23-4308
 - 誠和整備工業(有) 23-5009
 - 弘川電気商会 27-0059
 - ㈱たかもり 25-1170

- 寿屋商店 29-2036
- 久保田商会 26-2026
- (有)朝日設備工業 22-5265
- 瑞穂設備 23-6240
- 川菱設備(株) 23-0525
- 藤本電気店 28-2578
- (有)久保設備 25-4401
- 前平管工 24-2702
- かねこ住設 23-2810
- (有)日設 23-9650
- (有)西部施設 22-4188
- 山口住設 23-8815

《専

集》

伊商・有工 定時制

伊万里商業高校、有田工業高
校は、働きながら学ぶ定時制の
生徒を募集します。

●学 科

- 伊万里商業高校…商業科
- 有田工業高校… 窯業、デザインコース

●出願期間

2月19日、20日、21日の3日間

●学力検査 全日制に同じ

伊 商 専 修 科

伊万里商業高校は、パソコン
(ワープロ、ベーシック)講座
の生徒を募集します。

週2回(19:00~20:30)

1年間の履習。書類、面接によ
り受け入れます。

※詳しいことは、伊万里商業高
校までお尋ねください。

(☎5191)

母子・寡婦家庭へ 修学資金等の貸付

母子・寡婦家庭の児童を対象
に、就学支度資金や修学資金な
どの貸し付けを次のように行い
ます。

●対 象 **今年**新たに入学する
児童、生徒、または在学中の
児童、生徒

●貸付金の種別と申請時期

就学支度資金 1月22日~2
月21日(今年入学予定者に限
ります)

修学資金 2月3日~3月3日

修業資金 1月22日~3月3日

●申込先 福祉事務所

●提出書類 申請書、戸籍謄本、
住民票謄本、所得税・税額証
明書など

※詳しいことは、福祉事務所婦
人児童係(☎2111 内線258)、
または母子相談室(内線265)へ
お尋ねください。

会 員 権 商 法 に ご 注 意

「あなた選ばれました」と
言って会社に呼び出したり、自
宅に電話をかけたりして、格安
で行けるような旅行、レジャー
の会員権などを強引に契約させ
られるトラブルが起きています。

被害者は、若い人が多いよう
です。なお、このごろは、老人

相手にリゾート会員権などを利
殖になるといって惑わし、ただ
の紙切れになるケースも出てい
ます。「おかしいな」と思っ
たら早目に相談しましょう。

※消費生活にかかる相談は、市
役所市民相談室へ

(☎2111 内線225・226)

第1回 招福伊万里えびす祭 1月20日(土)

午前10時半 七福神仮装パレード(伊万里神社～親和銀行前)

午前11時 豪華景品が当たる福引大会

300円で 自転車5台・鯛400匹ほか
空クジなし

(主催：伊万里市商店街連合会)

楽々スリム教室

受講者募集

保健センターは、健康づくりと肥満予防を目的とした楽々スリム教室の受講者を募集します。

- 対象者 住民総合健康診断の(血液検査)受診者で特に異常の認められなかった人
- 期間 1月下旬～2月
(原則として毎週月曜日)
- 時間 午後1時～3時半
- 定員 30人
- 申込先 市保健センターへ電話で(☎2111 内線286)

あなたも

「梅」のオーナーに

市は、梅の分収林を実施します。場所は腰岳南斜面(大川内町吉田字六本柳)で、森林とのふれあい環境整備事業の一環として分収林制度を利用したものです。

春には自由に梅の花の美しさを満喫でき、収穫の喜びも味わうことができます。

※詳しいことは、市農林水産課林務係へお尋ねください。

(☎2111 内線384)

第25回 新春読書感想文コンクール

- 応募資格 県内小・中・高校の児童・生徒、勤労青少年と成人
- 内容 最近読んだ本についての感想、鑑賞、批判、書評
- 対象図書
 - ①自由図書…教科書、雑誌を除く図書
 - ②課題図書…主催者が指定する図書(小・中学生のみ)
- 原稿枚数 小学生は400字詰原稿用紙3枚、そのほかは5枚
- 応募方法 応募票を作品の右

肩に貼付し、作品は右肩と同じ

●送り先

- ①小・中・高校生は学校を通じ、学校図書館事務局へ
- ②そのほかは、県立図書館奉仕課へ

●締め切り

- ①小・中・高校生は地区事務局の締め切り日
- ②そのほかは、1月20日

※詳しいことは、学校図書館事務局か県立図書館奉仕課へお尋ねください(☎0952-24-2900)

今月の市民相談

場所：市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

●法律	11.18(木)
●社会保険	5.12.19.26(金)
●交通事故	9.23(火)
●行政	17(水)
●人権	10(水)
●身障者	24(水)
●青少年	25(木)
●消費生活	8.16.(火)22.29(月)
●婦人就業	10.17.24.31(水)

1月の市民会館行事

- 15日(月)10時 成人式
(社会教育課☎2111内線462)
- 21日(日)9時半 3,800円
カラオケ民謡大会(☎5888)
- 25日(木)18時半 子ども劇場
舞台劇「ベッカコンおに」



色えんぴつ

広報の取材をしていて、本当に若い人たちの活動やグループでの活動が目につきます。趣味の集まりからまちづくり、ボランティアまで、その活動はさまざまですが、「利」から離れたところでの皆さんの熱心さについても感心させられます。このような活動が、広がりを増し、そして長く続けられていけば、その中で何か新しいものが生まれてくるのではないかと思います。

今度の座談会ですぐに何かが変わるとはもちろん思いませんが、文化というものを、ほんのちょっとだけでも考えていただけたらと、期待しています。



大坪小1年の レンゲの絵の展示会

11月20日から30日まで、市役所ロビーに大坪小学校（秋吉博文校長）の1年生がかいたかわ

いいレンゲの絵や作文が展示され、市役所を訪れた人や市職



○展示の準備をするレンゲの会のみなさん

とへれんげのたねをとどけます。はないっばいにしてくださいね。1の1のみんなより」と書いたメッセージを添え、ゴム風船にビニールに入ったレンゲの種子をつけて飛ばしました。絵や作文はそのときのことをかいたものです。風船は福岡県や熊本県などまで飛んでいき、「わたしの畑で見つけました。ぜひ植えてみようと思います。何だか春が待ちどおしいです」などと、花の便りが何通も届いています。

員の目を楽しませてくれました。子どもたちは10月28日、伊万里レンゲの会（立川荒雄会長、100人）が行ったレンゲの種まきに同校の6年生といっしょに参加。「1の1からあなたのも



伊中たちばな学級 手づくりで版画カレンダー

伊万里中学校（畠山孝郎校長）の障害児学級「たちばな学級」が製作していた平成2年の版画カレンダーが完成しました。

カレンダーは同学級を担当している金子克己先生（58）と橋本健次郎先生（52）が指導し、昨年9月から取り組んでいたものです。毎月の画題は、13人の生徒と先生で話し合っ

て決め、学級行事や体験したい校外学習などを取り上げています。原画が仕上がると、原画、曜日、日付けをベニア板にはり、彫刻刀で細かく彫り込みます。そのあと黒刷りし、最後に色刷りしますが、多いのは5～7色の月もあり、何回もローラーで赤や青などを刷り込んで出来上がりです。製作を楽しみにしている生徒たちは、取材したときも色刷り作業に一生懸命取り組んでいました。

カレンダー製作は、生徒の根気強さや協調性の訓練にと、24年前から続けられています。



○毎年手づくりで版画カレンダーを作っているたちばな学級